

令和 6 年度 公営企業の経営状況について

目 次

1. 水道事業の経営状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 下水道事業の経営状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

(令和 7 年 11 月)

上 下 水 道 局

1. 令和6年度 水道事業の経営状況

(1) 配水量及び有収水量

(単位: 千m³)

		令和5年度	令和6年度	割合	対前年度比	
総配水量		14,022 千m³	14,035 千m³	—	13 千m³	100.1
総有収水量		11,864 千m³	11,766 千m³	100.0	△ 98 千m³	99.2
用途別	家庭用	9,193 千m³	9,208 千m³	78.3	15 千m³	100.2
	業務用	2,073 千m³	2,022 千m³	17.2	△ 51 千m³	97.5
	工場用	598 千m³	536 千m³	4.5	△ 62 千m³	89.6
有収率（ % ）		84.6 %	83.8 %	—	△ 0.8 %	99.1
水道料金（税抜き）		2,598,945 千円	2,559,530 千円	—	△ 39,415 千円	98.5

(2) 収支比較 (収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み)

(単位: 千円)

	科 目	令和5年度	令和6年度	割合	対前年度比
収益的収入	1営業収益	2,744,638	2,687,328	92.8	△ 57,310 97.9
	2営業外収益	217,190	207,627	7.2	△ 9,563 95.6
	3特別利益	772	738	0.0	△ 34 95.6
	水道事業収益計	2,962,600	2,895,693	100.0	△ 66,907 97.7
収益的支出	1営業費用	2,630,707	2,708,328	95.8	77,621 103.0
	2営業外費用	130,975	118,498	4.2	△ 12,477 90.5
	3特別損失	27,952	997	0.0	△ 26,955 3.6
	水道事業費用計	2,789,634	2,827,823	100.0	38,189 101.4
当期純利益		172,966	67,870	—	△ 105,096 39.2
資本的収入	1企業債	450,000	439,800	83.4	△ 10,200 97.7
	2出資金	4,852	5,225	1.0	373 107.7
	3補助金	79,575	65,508	12.4	△ 14,067 82.3
	4負担金	402	6,994	1.3	6,592 1,739.8
	5補償金	25,460	9,828	1.9	△ 15,632 38.6
	6固定資産売却代金	198	0	0.0	△ 198 0.0
資本的収入計		560,487	527,355	100.0	△ 33,132 94.1
資本的支出	1建設改良費	1,000,453	918,615	58.6	△ 81,838 91.8
	2企業債償還金	676,244	648,465	41.4	△ 27,779 95.9
	資本的支出計	1,676,697	1,567,080	100.0	△ 109,617 93.5
①収入が支出に不足する額		1,116,210	1,039,725	—	△ 76,485 93.1
②翌年度の繰越事業の財源			3,641	—	—
①+②財源調整後の財源不足額			1,043,366	—	—

給水収益の減 ▲39,415
他会計負担金の減 ▲12,519

人件費の増 +32,541
委託料の増 +56,668
修繕費の減 ▲24,752
負担金補助及び交付金の増 +10,995

過年度損益修正損の減 ▲26,895

起債対象事業費の減に伴う減 ▲10,200

国庫補助金の減 ▲14,067

防護工事等に関する補償金の減 ▲15,632

浄水場改良費の減 ▲43,803
…委託料 (+21,083)
…改良工事 (▲59,175)
配水設備改良費の減 ▲65,042
…配水管布設工事 (+26,705)
…その他の工事 (▲91,123)
漆沢外、八幡配水池
計装設備更新 (▲112,287)
庁舎改修費の増 +34,324
…煙突改良、ボイラ更新 (+34,016)

企業債元金償還額の減 ▲27,779 …償還計画に基づく減

収入(翌年度へ繰り越される支出額の財源充当額3,641千円を除く)が支出に不足する額1,043,366千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額77,439千円、前年度からの繰越工事資金12,050千円及び過年度分損益勘定留保資金953,877千円で補填した。

◇補填財源の残高 (単位: 千円)

項目	6年度末残高
過年度分損益勘定留保資金	261,454
当年度分損益勘定留保資金	1,059,703
減債積立金	337,590
建設改良積立金	1,831,112
当年度純利益	67,870
繰越利益剰余金	172,966
計	3,730,695

(3) アクションプランにおける収支見通しと決算額の比較(令和4年度～令和8年度)

①収益的収支見通し(税抜)

(単位:千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
給水収益	2,588,128	2,570,253	2,540,333	2,517,213	2,494,094	12,710,021
その他収益	324,256	322,213	319,536	317,501	314,625	1,598,131
収益合計	2,912,384	2,892,466	2,859,869	2,834,714	2,808,719	14,308,152
営業費用	2,651,135	2,641,377	2,645,620	2,639,098	2,643,992	13,221,222
営業外費用	155,900	148,010	141,758	136,730	132,755	715,153
費用合計	2,807,035	2,789,387	2,787,378	2,775,828	2,776,747	13,936,375
経常損益	105,349	103,079	72,491	58,886	31,972	371,777
特別利益	1	1	1	1	1	5
特別損失	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	11,285
特別損益	▲ 2,256	▲ 2,256	▲ 2,256	▲ 2,256	▲ 2,256	▲ 11,280
当年度純損益	103,093	100,823	70,235	56,630	29,716	360,497
未処分利益剰余金(損失補填)	0	0	0	0	0	0
損益合計	103,093	100,823	70,235	56,630	29,716	360,497
決算額(純損益)	256,920	172,966	67,870	12,993	—	—
見通しとの差	153,827	72,143	▲ 2,365	▲ 43,637	—	—

※R7は当初予算額

②資本的収支見通し(税込)

(単位:千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
企業債	681,500	667,000	636,700	651,900	651,000	3,288,100
その他の収入	133,856	131,042	128,225	128,245	128,265	649,633
収入合計	815,356	798,042	764,925	780,145	779,265	3,937,733
建設改良費	1,055,326	1,593,110	1,711,110	1,754,110	1,752,110	7,865,766
企業債償還金	687,332	676,244	648,465	662,481	652,660	3,327,182
支出合計	1,742,658	2,269,354	2,359,575	2,416,591	2,404,770	11,192,948
差引	▲ 927,302	▲ 1,471,312	▲ 1,594,650	▲ 1,636,446	▲ 1,625,505	▲ 7,255,215
補てん財源						
消費税資本的収支調整額	83,626	126,649	136,089	139,529	139,369	625,262
損益勘定留保資金	843,676	1,344,663	1,458,561	1,496,917	1,336,873	6,480,690
減債積立金	0	0	0	0	0	0
建設改良積立金	0	0	0	0	149,263	149,263
補てん財源計	927,302	1,471,312	1,594,650	1,636,446	1,625,505	7,255,215
補てん財源残高						
損益勘定留保資金残高	1,237,082	984,497	627,202	228,818	0	—
減債積立金残高	289,590	289,590	289,590	289,590	289,590	—
建設改良積立金残高	960,677	960,677	960,677	960,677	811,414	—
補てん財源残高計	2,487,349	2,234,764	1,877,469	1,479,085	1,101,004	—
決算額(財源の残高)	2,833,387	3,066,087	3,489,859	3,411,524	—	—
見通しとの差	346,038	831,323	1,612,390	1,932,439	—	—

※R7は当初予算額(R6決算額を含む)

損益勘定留保資金 1,321,157千円
減債積立金 337,590千円
建設改良積立金 1,831,112千円

《参考》

⇒ R4～R8までの収支見通しでは、利益を処分せず繰越することとしている。
※料金改定を行わない期間中の赤字発生に備え収益的収支内に留保する。

利益剰余金の残高	451,154	551,977	622,212	678,842	708,558
決算額	507,328	429,886	240,836	253,829	—
見通しとの差	56,174	▲ 122,091	▲ 381,376	▲ 425,013	—

※R7は当初予算額(R6決算額を含む)

2. 令和6年度下水道事業の経営状況

全 体

(1) 処理水量及び有収水量

(単位:千m³)

	令和5年度	令和6年度	割合	対前年度比
総 処 理 水 量	10,908 千m ³	11,078 千m ³		170 千m ³ 101.6
総 有 収 水 量	8,693 千m ³	8,705 千m ³		12 千m ³ 100.1
有 収 率 (%)	79.7 %	78.6 %		△ 1.1 % 98.6
下水道使用料(税抜き)	1,587,317 千円	1,573,742 千円		△ 13,575 千円 99.1

下水道使用料の減
▲13,575
他会計負担金の増
+18,127

(2) 収支比較 (収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み)

(単位:千円)

	科目	令和5年度	令和6年度	割合	対前年度比
収益的 収 入	1 営業収益	1,677,567	1,682,814	50.0	5,247 100.3
	2 営業外収益	1,665,040	1,685,364	50.0	20,324 101.2
	3 特別利益	558	396	0.0	△ 162 71.0
	下水道事業収益計	3,343,165	3,368,574	100.0	25,409 100.8
収益的 支 出	1 営業費用	2,897,286	2,926,685	92.7	29,399 101.0
	2 営業外費用	239,552	227,284	7.2	△ 12,268 94.9
	3 特別損失	5,544	4,646	0.1	△ 898 83.8
	下水道事業費用計	3,142,382	3,158,615	100.0	16,233 100.5
当期純利益		200,783	209,959	—	9,176 104.6

他会計負担金の増
+17,999

人件費の増 +17,684
委託料の増 +8,946

支払利息の減 ▲12,284
償還計画による減

企業債の減 ▲313,700
…建設改良費の減によるR6借
入額の減

資本的 収 入	1 企業債	955,300	641,600	52.0	△ 313,700 67.2
	2 出資金	81,327	79,619	6.4	△ 1,708 97.9
	3 補助金	619,429	415,383	33.7	△ 204,046 67.1
	4 負担金	93,646	97,377	7.9	3,731 104.0
資本的収入計		1,749,702	1,233,979	100.0	△ 515,723 70.5
資本的 支 出	1 建設改良費	1,852,308	1,123,221	46.1	△ 729,087 60.6
	2 企業債償還金	1,347,638	1,315,375	53.9	△ 32,263 97.6
	資本的支出計	3,199,946	2,438,596	100.0	△ 761,350 76.2
収入が支出に不足する額		1,450,244	1,204,617	—	△ 245,627 83.1
②翌年度の繰越事業の財源			127,914	—	—
①+②財源調整後の財源不足額			1,332,531	—	—

国補助金の減 ▲204,735
…建設改良費の減によるR6受
入額の減

管渠建設費の減
▲323,159
…公共下水道管理設工事の前
年度からの繰越の皆減による
R4→R5(R5決算) 269,990
R5→R6(R6決算) 0

処理場改良費の減
▲138,393
…R6は2カ年事業(R6~R7)
の初年度の為、事業費が小さい
ことによる

雨水管渠整備費の減
▲236,170
…雨水管渠整備工事の前年度
からの繰越の皆減による
R4→R5(R5決算) 378,479
R5→R6(R6決算) 0

資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出額の財源充当額127,914千円を除く)が資本的支出額に不足する額1,332,531千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額55,865千円、前年度からの繰越工事資金30,168千円、過年度分損益勘定留保資金32,950千円、当年度分損益勘定留保資金1,084,527千円及び減債積立金129,021千円で補填した。

《参考》

人件費や委託料の増などに伴う繰入金の増

項 目	令和5年度	令和6年度	割合	対前年度比
一般会計繰入金	949,826	992,916		43,090 104.5

(3) 資本的収支(4条)の財源不足額の補填、補填財源の残高(下水道事業)

令和6年度決算

① 4条財源不足額

(単位:円(消費税及び地方消費税込み))

項目	全体	公共	農集	個別
4条収入	1,233,979,600	975,359,450	171,913,150	86,707,000
4条支出	▲2,438,596,347	▲2,005,399,187	▲285,991,218	▲147,205,942
4条財源不足額(収入 - 支出)	▲1,204,616,747	▲1,030,039,737	▲114,078,068	▲60,498,942

② 翌年度へ繰越しとなる財源

(単位:税抜き・円)

項目	全体	公共	農集	個別
企業債補助金	63,600,000	55,600,000	8,000,000	0
合計	127,913,638	111,822,728	16,090,910	0

《ポイント①》

令和6年度決算における『資本的収支の財源不足』について、下記の財源で補填を行う(優先順位で記載)

③ 4条財源不足額の補填

(単位:円)

項目	全体	公共	農集	個別
(1) 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	55,864,483	44,895,289	5,692,789	5,276,405
(2) 前年度からの繰越工事資金	30,168,182	0	30,168,182	0
(3) 過年度分損益勘定留保資金	32,949,828	0	412,499	32,537,329
(4) 当年度分損益勘定留保資金	1,084,526,508	976,460,443	85,380,857	22,685,208
(5) 減債積立金	129,021,384	120,506,733	8,514,651	0
合計	1,332,530,385	1,141,862,465	130,168,978	60,498,942

《ポイント②》

令和6年度決算において、『資本的収支の財源不足』を補填した結果、会計内に留保される財源(内部留保=翌年度へ送る財源)

※セグメント別では、公共・農集で損益勘定留保資金が不足するが、会計全体では残高が生じるため、会計全体で調整

④ 補填財源の年度末残高 … 翌年度へ送る財源

(単位:円)

項目	全体	公共	農集	個別
(1) 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	0	0	0	0
(2) 当年度分損益勘定留保資金	32,265,379	0	0	32,265,379
当年度分損益勘定留保資金 (翌年度への繰越しとなる事業の財源)	11,466,453	9,003,363	2,463,090	0
(3) 減債積立金	112,416,975	64,861,556	5,880,222	41,675,197
(4) 当年度末処分利益剰余金	209,959,014	163,773,033	16,238,268	29,947,713
(5) 繰越利益剰余金	200,783,200	155,155,717	12,802,665	32,824,818
合計	566,891,021	392,793,669	37,384,245	136,713,107

《ポイント③》

令和6年度に生じた、会計内に留保される現金・預金。減価償却などの現金支出を行わない経費が会計内に留保される仕組みとなっている。

(費用→計上、現金→支出しない = 現金の留保)

※留保資金については、資本的収支の財源として活用できる

《参考》 当年度分損益勘定留保資金 … 令和6年度に計上された内部留保資金

(単位:円)

項目	全体	公共	農集	個別
減価償却費	2,045,443,006	1,798,998,749	162,992,954	83,451,303
資産減耗費	11,250,693	471,868	10,273,437	505,388
長期前受金戻入	▲928,435,359	▲814,006,811	▲85,422,444	▲29,006,104
翌年度への繰越しとなる事業の財源	▲11,466,453	▲9,003,363	▲2,463,090	0
当年度分損益勘定留保資金	1,116,791,887	976,460,443	85,380,857	54,950,587

→ ③(4)で1,084,526千円を充当した結果、
④(2)の 32,265千円が翌年度に留保される